

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
ビジネス基礎											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	伊藤 希慧			実務経験	有	職種	システムエンジニア				
担当教員紹介											
担当教員は、主に航空分野・保険分野におけるシステム開発とマネジメントに従事。提案、要件定義、開発、テスト、運用のシステムライフサイクル全般に渡る実務経験有り。基本情報技術者試験の資格を有する。											
授業概要											
プロジェクトを成功させるためのプロジェクトマネジメントに関する手法や、企業活動の核となるお金の流れなどを学習する。また、開発した情報システムを適正に運用・管理していくためのルール設定や、関連法規・経営科学も学習し、各種検定試験で必要になる基礎的知識を修得する。授業内容の理解度を確認するため、小テストを授業時間内に実施するものとする。											
到達目標											
企業ではさまざまな戦略が立案され、それを実現するために多種多様な情報システムが利用されている。これから情報処理技術者として社会人になるにあたり、授業で学んだ知識を元に企業経営の考え方、プロジェクトマネジメントの手法などを理解する。また、情報処理業界の人材を育成するための指標として実施されている情報処理技術者試験（国家試験）の各種試験区分における基礎的知識の修得をすることによって、試験の合格も目指すものとする。											
授業方法											
この講義では、企業活動で利用されている企業会計や経営科学、システムを構成するソフトウェアを開発するソフトウェア開発手法、ある特定の目的を達成するために不定期に立ち上げられる業務やプロジェクトを成功させるための手法・技術を学習し、社会人になるための基礎的スキルを修得するものとする。経営目標を達成するための経営戦略や、情報システムの効率的な運用手法、管理手法などに関しても学習し、情報処理技術者としての見識を広げる。座学での知識習得、課題テストでの知識習得の確認を行う。											
成績評価方法											
試験・課題 80% 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 10% 授業内容の理解度を確認するために実施する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
I T 戦略とマネジメント（インフォテック・サーブ）／授業内配布プリントなど											
回数	授業計画										
第1回	企業活動の目的、組織体系、経営管理を理解する										
第2回	財務会計、管理会計を理解する										
第3回	応用数学、OR、IE分析手法を理解する										
第4回	QC手法、業務分析を理解する										
第5回	知的財産権、セキュリティ関連法規、労働関連・取引関連法規を理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
A I システム科	
ビジネス基礎	
第6回	コンプライアンス、標準化と認証制度を理解する
第7回	経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略と目標・評価、経営管理システムを理解する
第8回	イノベーション、技術開発戦略の立案、技術戦略マネジメント手法を理解する
第9回	プロジェクトマネジメントの目的と考え方を理解できる
第10回	プロジェクト統合マネジメント、スコープマネジメント、タイムマネジメントを理解できる
第11回	プロジェクト統合マネジメント、スコープマネジメント、タイムマネジメントを理解できる
第12回	サービスマネジメントの目的と考え方を理解できる
第13回	サービスマネジメントシステムの確立及び改善、ITILを理解できる
第14回	サービスマネジメントプロセスを理解できる
第15回	システム監査の目的と考え方、ITガバナンスを理解できる